

確率の発展問題

【1】 2つのさいころ A、B を投げるとき、A の目の数を a 、B の投げた目の数を b とするとき、次の確率を求めなさい。

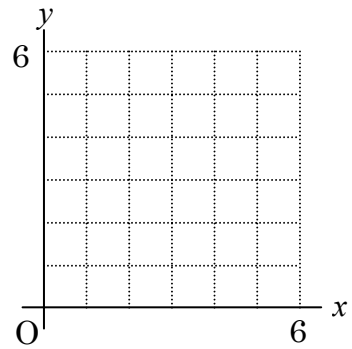
(1) 座標を定めた平面上で点 (a, b) が直線 $y = 2x - 1$ 上の点となる確率を求めなさい。

(2) x の1次方程式 $ax = b + 3$ の解が4より小さい整数となる確率を求めなさい。

【2】 2つのさいころ A、B を投げるとき、A の目の数を x 座標、B の目の数を y とする点を P とする。次の確率を求めなさい。

(1) 点 P が直線 $y = 2x$ 上にある確率を求めなさい。

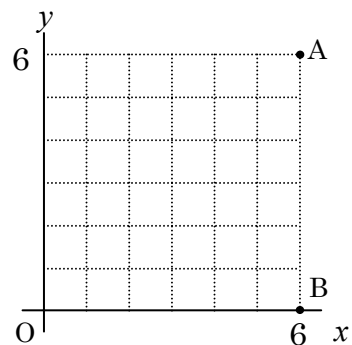
(2) 原点を O とするとき、 $OP > 5$ となる確率を求めなさい。



【3】 下の図のような座標平面上に2点 $A(6,6)$ 、 $B(6,0)$ がある。次に、大小 2 個のさいころを2回投げて、大きいさいころの目の数を x 、小さいさいころの目の数を y として、 (x, y) を座標とする点を P とする。

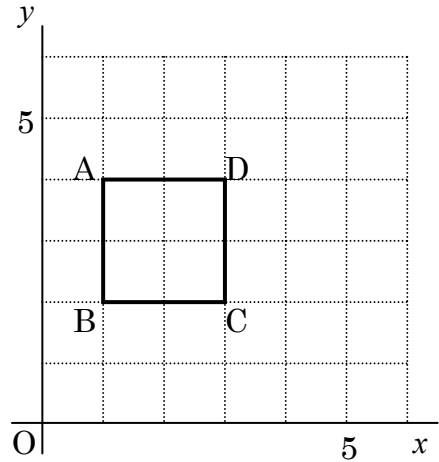
(1) $\triangle OPA$ ができるときその面積が12となる確率を求めなさい。

(2) $\angle OPB$ の大きさが 90° より大きくなる確率を求めなさい。



確率の発展問題

- 【4】下の図のように頂点の座標が $A(1,4)$ 、 $B(1,2)$ 、 $C(3,2)$ 、 $D(3,4)$ である正方形 $ABCD$ を作る。次に、さいころを2回投げて、1回目に出た目の数を a 、2回目に投げた目の数を b として、直線 $y = ax + b$ をグラフに表す。この直線が正方形 $ABCD$ の辺上の点を通る確率を求めなさい。



- 【5】2つのさいころ A、B を投げるとき、A の目の数を a 、B の投げた目の数を b として、 x についての方程式 $ax - b = 3$ をつくる。さいころ A、B を同時に投げるとき、この方程式の解が整数となる確率を求めなさい。

- 【6】大小2個のさいころを同時に投げ出る目の数をそれぞれ a 、 b とする。

(1) 分数 $\frac{b}{a}$ が整数になる確率を求めなさい。

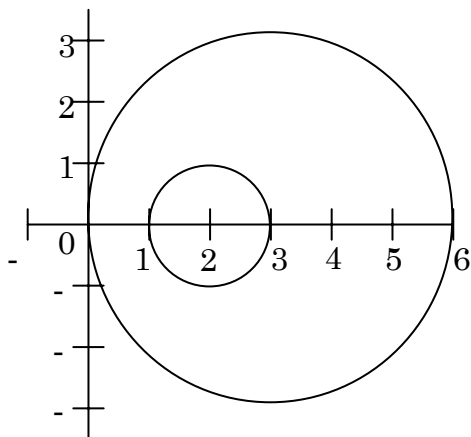
(2) 分数 $\frac{b}{a}$ が1以上2以下になる確率を求めなさい。

(3) $\sqrt{\frac{b}{a}}$ の値が根号のつかない整数または分数となる確率を求めなさい。

確率の発展問題

【7】 大小2個のさいころを同時に投げ、大きいさいころの出る目の数を a 、小さいさいころの出る目の数を b とする。 $\sqrt{2a+b}$ が整数となる確率を求めなさい。

【8】 2つのさいころ A、B を投げ、出た目の数をそれぞれ a 、 b とする。いま、点 $(a, 0)$ を中心として、半径 1 の円を円 C、点 $(3, 0)$ を中心として、半径 b の円 D とする。例えば、 $a=2$ 、 $b=3$ のときは、下の図のようになる。これについて次の問いに答えなさい。

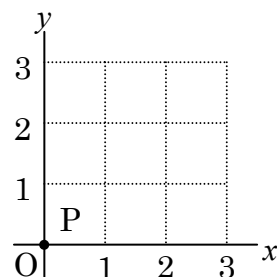


(1) 2つの円 C、D が接する(共有点を 1 つ持つ)確率を求めなさい。

(2) 2つの円 C、D が共有点を持たない確率を求めなさい。

【9】 2つのさいころ A、B を投げるとき、A の目の数を a 、B の投げた目の数を b として、 x についての方程式 $ax - b = 2x + 3$ をつくる。さいころ A、B を同時に投げるとき、この方程式の解が整数となる確率を求めなさい。

【10】 右の図において、点 P は原点 O にある。この点 P は 1 枚の硬貨を投げ、表が出れば x 軸の正の向きに 1 だけ移動し、裏が出れば y 軸の正の向きに 1 だけ移動する。次のルールに従って順々に移動するものとする。

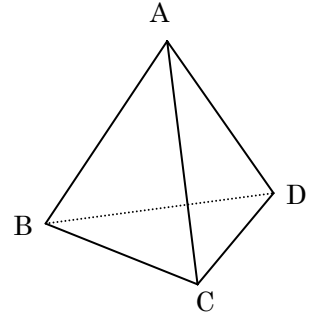


(1) 1枚の硬貨を1回だけ投げるとき、点 P が $(1, 0)$ に移動する確率を求めなさい。

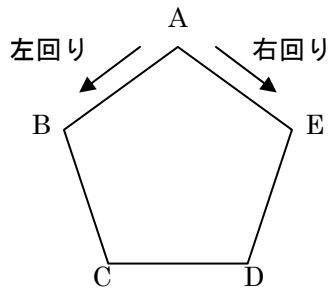
(2) 1枚の硬貨を3回投げるとき、点 P が $(2, 1)$ に移動する確率を求めなさい。

確率の発展問題

- 【11】 1 辺の長さが 1m の正四面体 ABCD がある。点 P が 1 つの頂点から毎分 1m の速さで、他の 3 つのいずれかに向かって正四面体の辺上を移動する。そのとき点 P は 1 つの頂点から他の 3 つの頂点のいずれかに同様な確からしさで移動するものとする。頂点 A から出発した点 P が、3 分後に A に戻る確率を求めなさい。



- 【12】 下の図のような、1 辺の長さが 2cm の正五角形 ABCDE があり、頂点 A の位置に 2 点 P、Q がある。花子と太郎が 1 回だけじゃんけんをして、花子が点 P を、太郎が点 Q を、次の規則に従って、正五角形の辺上を移動させるものとする。



〔規則〕

- ① あいこのときはどちらにも移動させない。
- ② 「グー」で勝った人は 2cm、「チョキ」で勝った人は 4cm、「パー」で勝った人は 6cm 左回りに移動させる。
- ③ 「グー」で負けた人は 2cm、「チョキ」で負けた人は 4cm、「パー」で負けた人は 6cm 右回りに移動させる。

- (1) 点 P が頂点 B の位置にある確率を求めなさい。

- (2) 2 点 P、Q が頂点 A の位置にある確率を求めなさい。

- (3) 2 点 P、Q が同じ頂点の位置にある確率を求めなさい。